

○進行管理・評価イメージ（案）

目標（中期目標） 市民1人あたり90年度比 -20%

○長期目標として、市民1人あたり90年度比-70%削減を掲げています。

○また、「大幅削減につながるようなモデルの創出」をあらわす「プロセス目標」は各主体の意見を反映させながら、今後、計画推進の中で設定していきます。

【茨木市地球温暖化対策推進部会からの総合評価】

●現状について

- ・市域全域の1人あたりの排出量は削減傾向にありますが、家庭部門、民生業務部門についてはより増加傾向であり、より一層の取り組みが求められます。
- ・各めざすまちの姿に向けた取り組みでは、今年度から把握しているため、継続的に把握、次の取り組みにつなげることが重要です。
- ・省エネナビモニターの取り組みについて、モニター数が停滞傾向にあります。一方、太陽光発電設置補助や事業者向けの設備補助の申し込みは増加傾向です。また、緑のカーテンも取り組みが広がっています。

●今後の取り組みについて

- ・市民、事業者の具体的な取り組みの把握なども課題であることから、今年度立ち上げたプラットフォームの取り組みが期待されます。
- ・茨木環境家計簿や省エネナビなど普及に苦慮していること、また設備補助等は予算に限りもあることから、身近に温暖化対策につながる普及策が求められます。

2012年度の市域の特徴的な取り組み

緑のカーテンの推進

市域の55名の市民モニター、3事業所、76の教育施設が緑のカーテンに取り組みました。

緑のカーテンは、室内への日射を防いでくれ、省エネ生活につながります。

**いばらき環境家計簿の実践・普及**

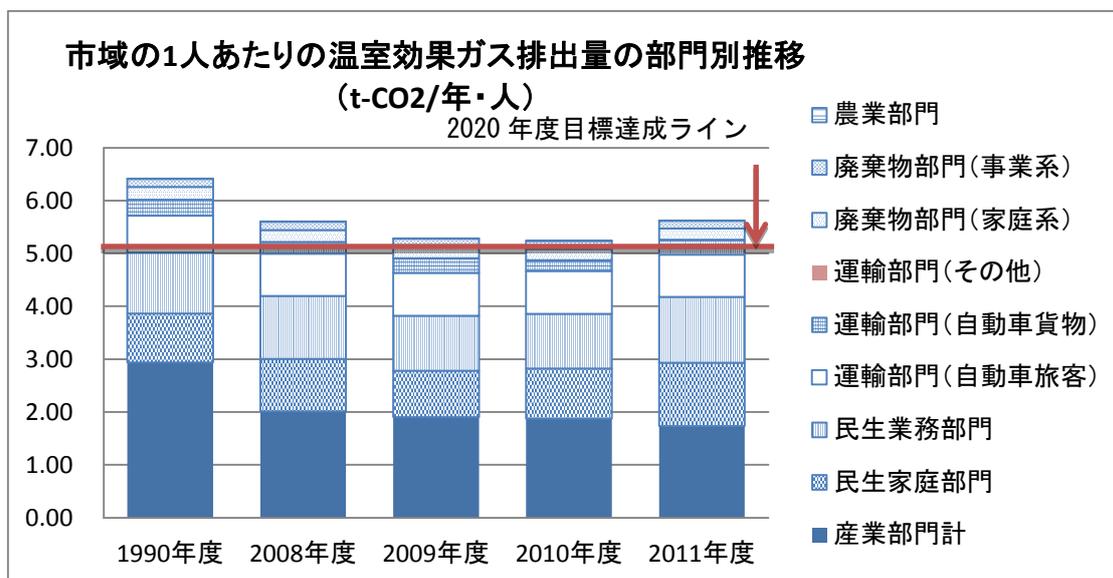
環境を考える市民ネットワークいばらきが中心となり、環境家計簿の普及促進の取り組みを進めています。



○進行管理・評価イメージ（案）

目標値への進捗状況

- ・ 最新の数値として、平成 22(2010)年度は、市民一人当たりの排出量が 5.63(t-CO₂/年・人) と平成 2(1990)年度から 12.3%削減しました。これは、産業部門における排出量が大幅に削減されていることが影響しています。
- ・ 一方、民生家庭部門は 1990 年度比は 30%の増加、民生業務部門は 9%増加しています。
- ・ なお、昨年 (5.25t-CO₂/年・人) と比較すると、7.3%増加しています。



電力の排出係数(kg-CO₂/kWh)

1990 年度	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度
0.353	0.355	0.294	0.311	0.450

<固有単位あたりの部門別排出量>

部門	単位	目安	今年度値 (2011 年度)		
		2020 年度	1990 年度比	昨年度比	
産業部門	製造品出荷額	-31%	+59%	+42%	
民生部門	家庭部門	人	-29%	+30%	+26%
	業務部門	床面積	-50%	-14%	+21%
運輸部門	自動車旅客	人	8%	+14%	-2%
	自動車貨物	製造品出荷額	-48%	+125%	+113%
廃棄物部門	家庭系	人	39%	-14%	0%
	事業系	床面積	2%	-21%	-1%

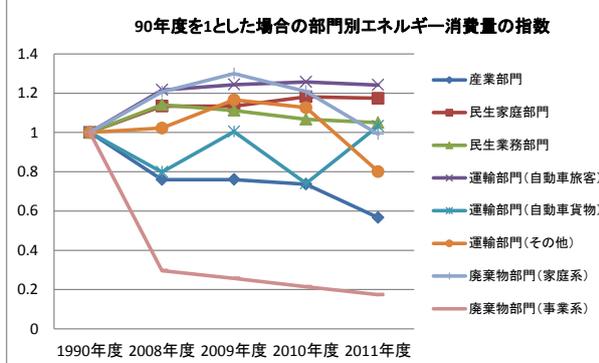
○進行管理・評価イメージ（案）

評価の進捗状況

全体指標

・産業部門、運輸部門（その他）、廃棄物部門（家庭系、事業系）のエネルギー消費量は90年度と比べると減少しているが、それ以外の部門は増加している。

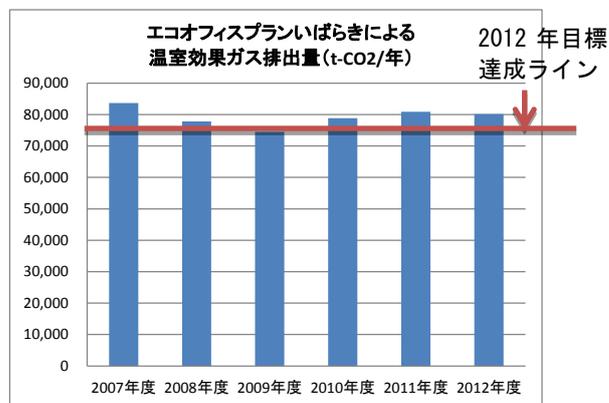
（固有原単位については別紙参照）



環境にやさしいライフスタイルが普及しているまち

- ・低炭素ライフスタイルの普及促進のため、環境フェアや啓発事業を行い、市民・事業者の参加を呼びかけています。
- ・市の取り組みとしては、エコオフィスプランいばらきを実践し、平成19(2007)年度を基準として10%の削減の目標にたいして、平成24(2012)年度は基準年度比4.2%の減少となっており目標未達成となりました。市の排出量の多くを占める廃棄物処理に関する排出量はコークスの使用量及びプラスチック類の排出量の減少により減少しましたが、エネルギーの使用に伴う二酸化炭素排出量が大幅に増加したため減少幅が少なくなっています。

指標	2012年度値
環境フェアの参加者数（人）	5,300
ごみ減量に関する啓発の取り組み数（キャンペーン・出前講座）（件）	13



※今年度以降は、各指標をグラフ化していきます。

多様な暮らし・なりわいができるまち

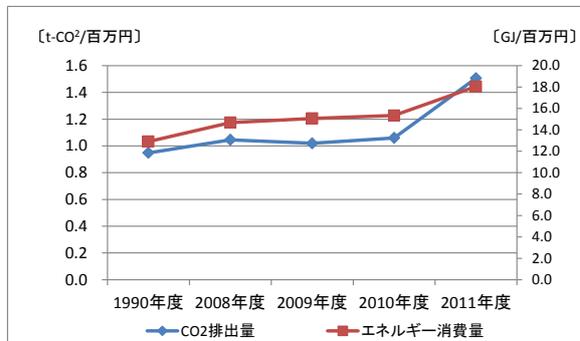
- ・認定低炭素建築物の認定制度は、今年度（2013年度）にスタートしたため、今後件数が伸びていくことが推測されます。

指標	2012年度値
再生可能エネルギー等導入件数（件）	700
長期優良住宅の認定件数（件）	356
認定低炭素建築物の認定件数（件）	0

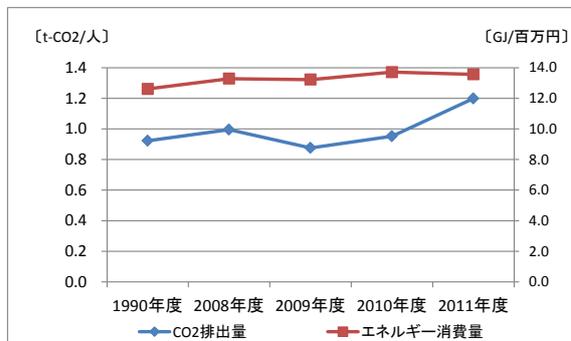
○進行管理・評価イメージ（案）

<参考：各部門の固有単位あたりのCO2排出量およびエネルギー消費量>

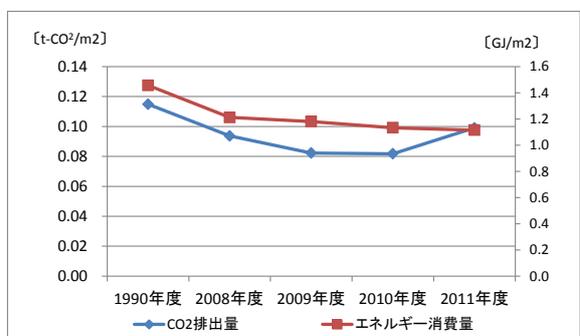
産業部門



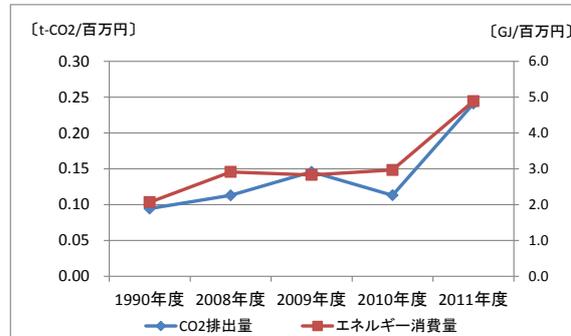
家庭部門



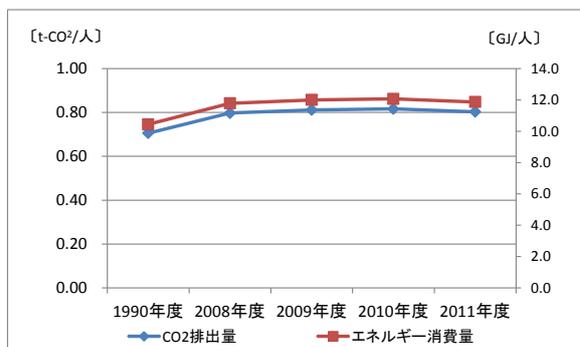
民生業務部門



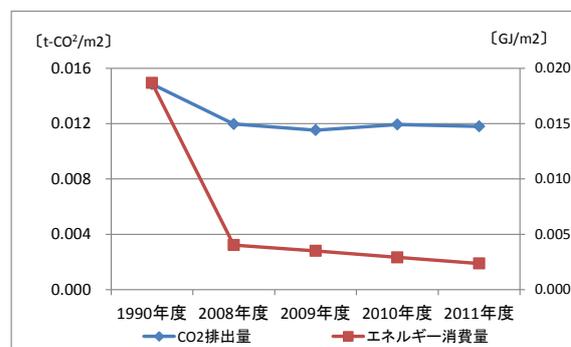
自動車貨物



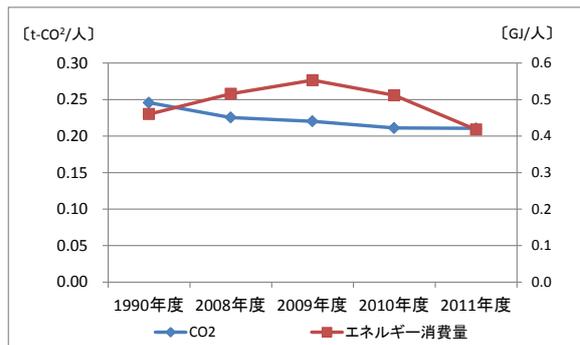
自動車旅客



事業系廃棄物



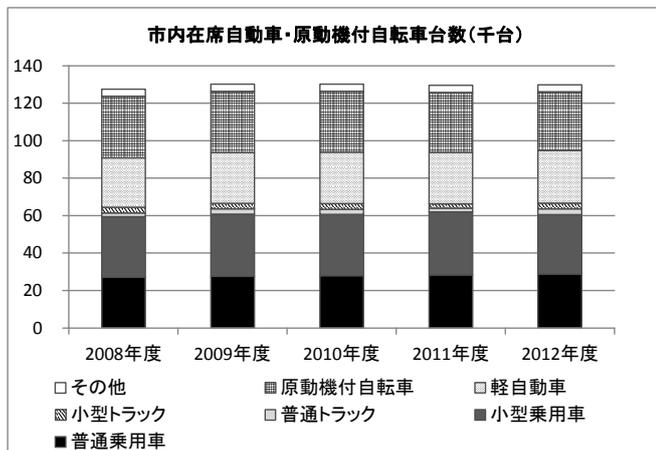
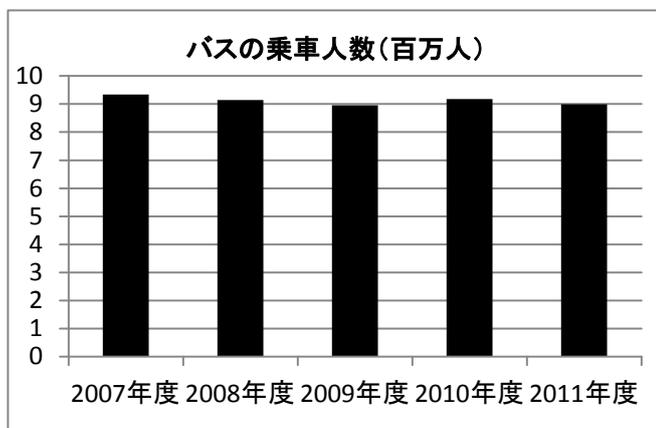
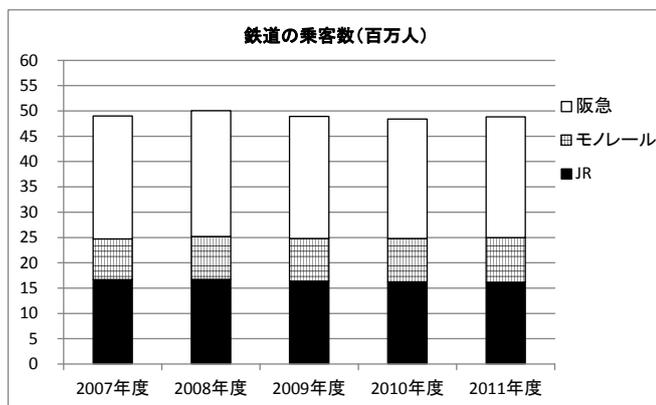
家庭系廃棄物



○進行管理・評価イメージ（案）

人にも環境にもやさしく移動ができるまち

- ・鉄道乗客数については、モノレールは増加傾向にありますが、阪急・JRは減少傾向にあります（2007年度比JR：3%減、モノレール1%増、阪急2%減）。また、バスの乗客数は、微減（2007年度比2%減）しています。
- ・自動車保有状況について、総数2%増とほぼ横ばいの状態が続いています。本市では、普通乗用車、小型乗用車、軽自動車、原動機付自動車がそれぞれ約2割～2割5分を占めています。
- ・一方、普通トラックは全体に占める割合は小さいですが、台数は、2008年度に比べると60%増加しています。



指標		2012 年値
自動車分担率 (%)		23
中心部の歩行者・自転車通行量	歩行者 (人/12h)	3,277
	自転車 (台/12h)	5,299
EV・PHV 充電設備数 (基)		3
コミュニティサイクル (レンタ) サイクル台数 (台)		979

○進行管理・評価イメージ（案）

環境負荷が小さいまちづくりが進んでいるまち

- ・現在、市では、公共施設・街路灯へのLED導入を進めています。また、LED導入以外にも、太陽光発電、太陽熱利用設備の導入などにも取り組んでいます。

指標	2012年度値
公共施設・街路灯へのLED等の導入件数（灯）	1,897
高効率給湯器等導入件数（件）	1,527

環境意識が次世代へ継承されるまち

- ・環境意識が次世代へ継承されるよう、市民や市民団体、企業の方などと連携して、以下の取り組みを進めています。

指標	2012年度値	
環境市民講座（年1回）参加者数（人）	29	
環境教育ボランティア活動（派遣）者数（人）	102	
市民団体による環境家計簿普及促進事業（環境講座）実施	回数（回）	8
	参加者数（人）	388
里山センター利用者数	3,701	
市民参加型森林保全事業市民ボランティア登録者数	18	



環境市民講座の様子



環境教育ボランティアによる活動の様子



市民団体による環境家計簿普及促進の様子

○進行管理・評価イメージ（案）

主な事業の実施状況 ★：新規事業**環境にやさしいライフスタイルが普及しているまち**

事業	取り組み内容（実績）	担当課
省エネナビモニターの活用及び普及	6件貸出	環境政策課
環境市民講座の開催	1回開催	環境政策課
集団回収、古紙類など資源物の分別・再資源化	再生資源集団回収報奨金事業を運用（404団体、10,652t回収）	環境政策課
廃物減量等推進員活動の推進	街頭啓発キャンペーン、環境衛生センター見学会、廃棄物減量等推進員研修会を実施	環境政策課
事業所訪問、啓発冊子・副読本の発行	131事業所を訪問、啓発リーフレット3,100部発行	環境政策課

多様な暮らし・なりわいができるまち

事業	取り組み内容（実績）	担当課
★省エネ・省CO2設備導入補助事業	8件、約90t-CO2削減	環境政策課
エコショップ制度の推進及び登録店舗の市HPへの掲載	39店舗	環境政策課
住宅用太陽光発電システム設置補助事業	407件、1639.2kW、	環境政策課

人にも環境にもやさしく移動ができるまち

事業	取り組み内容（実績）	担当課
公用車への低燃費自動車の導入	軽自動車8台、市長車1台	総務課等
EVの普及	いばらき環境フェアでEVの展示、試乗会を実施。EVに関するHPの作成	環境政策課

環境負荷が小さいまちづくりが進んでいるまち

事業	取り組み内容（実績）	担当課
朝市・青空及び直売所PR（地産地消の実践）	市HPに掲載、市の広報誌11件	農林課
中心市街地活性化支援補助事業	1件	都市政策課

環境意識が次世代へ継承されるまち

事業	取り組み内容（実績）	担当課
市民参加型森林保全事業	森林の保全と活用を図る市民ボランティアの育成を図る	農林課
環境家計簿の作成・配布	1,000冊作成、245人に説明・配布	環境政策課

○進行管理・評価イメージ（案）

＜参考：排出量算出方法＞

部門	対象	発生源	ガス種類	計算方法	出典資料
産業部門	産業全般	産業部門全体にわたる電力使用	C02	消費電力量×排出係数	電力会社資料
		産業部門全体にわたる都市ガス使用	C02	都市ガス使用量×排出係数	茨木市統計書
		産業部門全体にわたるLPガス使用	C02	大阪府のLPガス販売量×茨木市製造品出荷額÷大阪府製造品出荷額×排出係数	LPガス販売量：LPガス協会HP 製造品出荷額：工業統計（経産省）
	製造業	製造業におけるその他燃料使用	C02	大阪府の製造業EN消費量（炭素単位）×茨木市製造品出荷額÷大阪府製造品出荷額×C02換算係数	大阪府の製造業EN消費量：都道府県別エネルギー消費統計 製造品出荷額：工業統計（経産省）
	建設・鉱業	建設業・鉱業における燃料使用	C02	大阪府の建設業・鉱業EN消費量（炭素単位）×茨木市就業者数÷大阪府就業者数×C02換算係数	大阪府の建設業・鉱業EN消費量：都道府県別エネルギー消費統計 大阪府就業者数：1990：茨木市の従業者数の増加比率に従って推計 2008：事業所・企業統計調査 茨木市就業者数：茨木市統計書
	農業	農業における燃料使用	C02	大阪府の農林業EN消費量（炭素単位）×茨木市農業粗生産額÷大阪府農業粗生産額×C02換算係数	大阪府の農林業EN消費量：都道府県別エネルギー消費統計 大阪府農業粗生産額：生産農業所得統計（農水省） 茨木市農業粗生産額：1990：大阪府の生産額の増加比率に従って推計 2008：生産農業所得統計
	産業全般	ガス機関・ガソリン機関における燃料の使用 半導体製造等	CH4	N20	全国の排出量×茨木市製造品出荷額÷全国の製造品出荷額
HFC				全国の排出量×茨木市製造品出荷額÷全国の製造品出荷額	全国の排出量：日本の1990～2009年度の温室効果ガス排出量データより当該年度のデータを使用
PFC					
SF6					
民生業務部門	サービス	電力使用	C02	消費電力量×排出係数	電力会社資料
		都市ガス使用	C02	都市ガス使用量×排出係数	ガス使用量：茨木市統計書（「商業用」「医療用」「公用」の和）
		その他燃料使用	C02	全国の民生業務部門EN使用量×茨木市用途別床面積÷全国用途別床面積×排出係数	全国の民生業務部門EN使用量：エネルギー・経済統計要覧（EDMC） 全国用途別床面積：エネルギー・経済統計要覧（EDMC） 茨木市用途別床面積：都市計画基礎調査
		笑気ガス	N20	医療用亜酸化窒素出荷額×茨木市病床数÷全国病床数×排出係数	医療用亜酸化窒素出荷額：薬事工業生産動態統計年報 全国病床数：医療施設（静態・動態）調査・病院報告の概況（厚労省） 茨木市病床数：茨木市統計書
		業務用機器における燃料の使用	CH4 N20	茨木市民生業務部門での燃料使用量×排出係数×温暖化係数	茨木市民生業務部門での燃料使用量：C02排出量算出時に算出
民生家庭部門	一般	電力使用	C02	消費電力量×排出係数	電力会社資料
		都市ガス使用	C02	都市ガス使用量×排出係数	茨木市統計書
		灯油使用	C02	大阪府1世帯あたりの灯油年間購入量×茨木市世帯数×単身補正×排出係数	大阪府1世帯あたりの灯油年間購入量：家計調査年表 茨木市世帯数：茨木市統計書
		LPガス使用	C02	大阪府1世帯あたりのLPガス年間購入量×茨木市プロパンガス需要世帯数×単身補正×排出係数	大阪府1世帯あたりのLPガス年間購入量：家計調査年表 茨木市世帯数：茨木市統計書
		家庭用機器における燃料の使用	CH4 N20	茨木市民生家庭部門での燃料使用量×排出係数×温暖化係数	茨木市民生家庭部門での燃料使用量：C02排出量算出時に算出
運輸部門	自動車旅客	自動車の燃料使用量	C02	全国の自動車燃料消費量×茨木市の自動車保有台数÷全国の自動車保有台数	全国の自動車燃料消費量：自動車輸送統計年報 全国の自動車保有台数：自動車保有台数統計データ 茨木市の自動車保有台数：茨木市統計書
			CH4 N20	茨木市運輸部門（自動車旅客）での燃料使用量×平均燃費×排出係数×温暖化係数	茨木市運輸部門（自動車旅客）での燃料使用量：C02排出量算出時に算出
		カーエアコン	HFC	運輸局大阪支局への平成7年度以降登録台数×（茨木市登録台数÷大阪支局登録台数）×排出係数	大阪支局登録台数：平成19年度のものを使用
	自動車貨物	自動車の燃料使用量	C02	全国の自動車燃料消費量×茨木市の自動車保有台数÷全国の自動車保有台数	全国の自動車燃料消費量：自動車輸送統計年報 全国の自動車保有台数：自動車保有台数統計データ 茨木市の自動車保有台数：茨木市統計書
			CH4 N20	茨木市運輸部門（自動車貨物）での燃料使用量×平均燃費×排出係数×温暖化係数	茨木市運輸部門（自動車貨物）での燃料使用量：C02排出量算出時に算出
		カーエアコン	HFC	運輸局大阪支局への平成7年度以降登録台数×（茨木市登録台数÷大阪支局登録台数）×排出係数	大阪支局登録台数：平成19年度のものを使用
電車	電力使用 軽油使用	C02	各電力会社EN消費量×茨木市内営業キロ数÷総営業キロ数	各電力会社EN消費量、総営業キロ数：鉄道統計年報 茨木市内営業キロ数：地図上で実測	
廃棄物部門	家庭系	処理過程	C02 CH4 N20	処理量×排出係数	処理量：茨木市より提供 EN消費量：茨木市より提供
		エネルギー使用	C02	EN消費量×排出係数	
	事業系	処理過程	C02 CH4 N20	処理量×排出係数	
		エネルギー使用	C02	EN消費量×排出係数	
農業部門	農業全般	水田	CH4	水田面積×排出係数	水田面積：1990：平成20年度の値より、経営耕地総面積の変化率に従って推計 2008：茨木市統計書
		肥料の使用	N20	栽培品目別耕地面積×排出係数	栽培品目別耕地面積：1990：平成20年度の値より、経営耕地総面積の変化率に従って推計 2008：茨木市統計書